

放射線科プログラム

一般目標(オリエンテーション)

臨床における放射線科の果たす役割は①CT, MRI等の画像診断 ②画像診断を応用した低侵襲治療(IVR:InterVentional Radiology) ③放射線治療があります。画像診断では読影だけでなく、適切な検査の追加や余分な被爆の低減も考え、主治医へ提言します。IVRは画像下の生検や血管造影手技を用いた検査や止血治療などを行います。放射線治療は悪性腫瘍に対する根治治療や緩和ケアにおける除痛などを行い、患者のQOL維持・向上に貢献します。

行動目標

B-1医学・医療における倫理性	患者のプライバシーを守りつつ画像診断、IVR、放射線治療に取り組む。
B-2医学知識と問題対応能力	機器の原理・特徴を理解し、適切な診断方法の選択を学ぶ。
B-3診療技能と患者ケア	IVR、放射線治療では患者に直接接するため、真摯な態度、患者心理への配慮を学ぶ。
B-4コミュニケーション能力	放射治療では患者や家族との面談を通してコミュニケーション能力を高める。
B-5チーム医療の実践	放射線技師、看護師と連携してIVR、放射線治療を行う。カンファレンスを通して他診療科との連携を学ぶ。
B-6医療の質と安全の管理	適切な検査、治療を考える過程で被爆低減への配慮を学ぶ。
B-7社会における医療の実践	画像診断、放射線治療のもつ社会的側面、医療費の患者負担も考慮し適切な検査・治療を計画する。
B-8科学的探究	希少な疾患に遭遇した場合は文献検索なども行う。
B-9生涯に渡って共に学ぶ姿勢	放射線治療において、意見交換等を行い自己研鑽を行う。

研修の方略(LS)

週間スケジュール	月	火	水	木	金
時間					
8:00-8:30		外科術前カンファレンス		外科術前カンファレンス	
8:30-12:30	CT, MRI	CT, MRI	CT, MRI	CT, MRI	放射線治療
12:30-13:30	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:30-17:00	CT, MRI	IVR	CT, MRI	IVR	CT, MRI
16:00-16:30	放射線科内レビュー(数回/週)				

病棟業務
無し

手術
無し

カンファレンス
無し

その他 緊急時対応・学術活動等
無し

経験可能な症候(経験すべき症候29症例中0症候)		
1	ショック	
2	体重減少・るい瘦	
3	発疹	
4	黄疸	
5	発熱	
6	ものの忘れ	
7	頭痛	
8	めまい	
9	意識障害・失神	
10	けいれん発作	
11	視力障害	
12	胸痛	
13	心停止	
14	呼吸困難	
15	吐血・喀血	
16	下血・血便	
17	嘔気・嘔吐	
18	腹痛	
19	便通異常(下痢・便秘)	
20	熱傷・外傷	
21	腰・背部痛	
22	関節痛	
23	運動麻痺・筋力低下	
24	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	
25	興奮・せん妄	
26	抑うつ	
27	成長・発達障害	
28	妊娠・出産	
29	終末期の症候	
経験可能な疾病・病態(経験すべき疾病・病態26疾病・病態中0疾病・病態)		
1	脳血管障害	
2	認知症	
3	急性冠症候群	
4	心不全	
5	大動脈瘤	
6	高血圧	
7	肺癌	
8	肺炎	
9	急性上気道炎	
10	気管支喘息	
11	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	
12	急性胃腸炎	
13	胃癌	
14	消化性潰瘍	
15	肝炎・肝硬変	
16	胆石症	
17	大腸癌	
18	腎盂腎炎	
19	尿路結石	
20	腎不全	
21	高エネルギー外傷・骨折	
22	糖尿病	
23	脂質異常症	
24	うつ病	
25	統合失調症	
26	依存症(ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博)	

